



雪の感触を確かめながらスノーシューで歩みを進める参加者

雪上を歩き自然に触れる

フォレスト i スノーシュー体験

県民の森・森林ふれあい学習館フォレスト i のスノーシュー体験は1月12、22の両日、県民の森で開かれました。

両日とも約15人が参加。参加者はスノーシューの履き方などについて説明を受けると、実際に冬の森約2キロの道のりを自然観察しながら歩きました。

初めてスノーシューを履いた井上綾菜ちゃん(5)＝盛岡市＝は「簡単に歩くことができて楽しかった。またやってみよう」と笑顔で話しました。

放課後の居場所が新しく

新しい「あしろ学童クラブ」が開所

新しいあしろ学童クラブの開所式が1月11日、同クラブで開かれました。

関係者約60人が出席。テープカットで開所を祝ったほか、利用する安代小の児童が合唱を披露しました。

同クラブは、平成15年に旧安代町学校給食センターに開設して運営していました。新しい施設は木造平屋248平方メートル、総事業費は4,653万円。あしろ保育所と渡り廊下でつながっています。管理はNPO法人七時雨いきいきネットワークが行っています。



開所を祝って「ありがとう」「空より高く」を合唱した安代小の児童

ことしは震災復興も願い

市指定無形民俗文化財・平笠裸参り

市無形民俗文化財の平笠裸参り(伊藤信也保存会長)は1月8日、平笠の宮田神社を出発点に行われました。

女性9人を含む25人が参加。ことしは「東日本大震災復興祈願 岩鷲山大権現」と書かれたのぼりを掲げ、無病息災などとともに、沿岸地域の復興を祈願しながら、大更の八坂神社までの約8キロを歩きました。

なお、同保存会では1月12日に岩泉町を訪れ、町内の120戸の仮設住宅で暮らす人たちに、八坂神社で奉納した復興祈願のお守りと手ぬぐいを配布しました。



岩手山を背に、ことしは震災復興も祈願しながら練り歩く参加者

安全な一年へ士気高める

市交通指導隊・防犯隊合同初点検

市交通指導隊(高橋忠一隊長、隊員34人)と市防犯隊(遠藤義明隊長、隊員45人)の「平成24年合同初点検」は1月7日、松尾地区公民館で行われました。

隊員や交通安全、防犯関係者など約90人が参加。両隊員たちは、田村正彦市長や柏崎建一岩手警察署長などから服装や手帳、警笛などの点検を受けました。田村市長は「関係機関など一体になり、事故や犯罪のない安全・安心なまちづくりのため、より一層努力してほしい」と訓示しました。



制服姿で初点検を受ける交通指導隊、防犯隊の隊員



雪が降る中、雪かきに励むスノーバスターズの隊員たち(1月22日)

安心な生活支える雪かき

安代地区スノーバスターズ活動開始

安代地区スノーバスターズ(中村吉松隊長、隊員22人・2団体)の活動出発式は1月8日、安代福祉センターで行われ、今シーズンの活動をスタートしました。

出発式には約25人が参加。島山翔也君(安代中2年)が「雪かきだけでなく、お年寄りの皆さんに積極的に声を掛けることも頑張りたい」と決意の言葉を述べ、出発式後は3班に分かれて一人暮らし高齢者世帯などの家の雪かきに励みました。同スノーバスターズは、3月までの毎週日曜日出動し、作業に取り組みます。

3・11に生まれた命を喜ぶ

希望の「君の椅子」贈呈式

岩手・宮城・福島県の3県で、東日本大震災当日に生まれた赤ちゃんに椅子を贈る活動をしている「希望の“君の椅子”プロジェクト」(磯田憲一代表)のメンバーが1月17日、市役所を訪れ、昨年3月11日午後2時32分に生まれた蒲澤わこちゃん＝下町二区＝に手作りの木製の椅子をプレゼントしました。

椅子を贈られた母・亜希子さん(35)は「3月11日は一生忘れられない日。大きくなったら伝えられるように大切に使いたい」と喜びを語りました。



贈られた椅子に座る蒲澤わこちゃん(写真中央手前)
椅子の座面裏には名前などが刻印されている(写真左上囲み)

すなっぴギャラリー



「県民体育大会(スキー)・成年男子リレー準優勝、八幡平市A」(1月22日、1走畑中優勝選手(左)から2走落安陵選手)



「県民体育大会(スキー)・関崇将選手」(1月21日、スペシャルジャンプ成年男子B優勝)



「県高等学校スキー大会・木村陽選手」(1月16日、男子ジャイアントスラローム優勝【写真＝1月13日、県選手権】)



「19人が無病息災など願い練り歩く」(1月16日、松尾寄木地区・寄木裸参り)



「みんなでついた餅はおいしくいただきました」(1月12日、荒屋公民館新春世代間交流・餅つきと遊びの集い)